

パスファインダーとは、あるテーマについて調べるために役立つ資料を、1枚のチラシのかたちでわかりやすく紹介した「情報への道しるべ」のことです。ここでは「**人物情報の調べ方**」を取り上げ、必要な情報を発見できるようさまざまな情報源の一部を紹介します。

テーマ：人物情報の調べ方

歴史上の人物や現在活躍している著名人についての情報を調べるには、さまざまな資料があります。評伝や伝記といった資料が無い場合でも、人物事典などの参考図書を使えば経歴や功績などを調べることが出来ます。

1. 手がかりとなるキーワードと主な請求記号

伝記：280 人物列伝(日本)：281 系譜・家史・皇室：288 個人伝記：289

* 哲学者・宗教家・芸術家・スポーツマン・文学者等については各分野の主題の場所にあります。

例) ・ヘーゲル：134 ・最澄：188.4 ・シューベルト：762 ・夏目漱石：910 ナ

2. テーマの理解

百科事典や専門分野の事典を使うと、入門的な情報や最新情報を収集する手がかりになります。索引を使うことが情報検索の近道です。()内は請求記号です。

『平凡社 世界大百科事典』(R031)

『ブリタニカ国際大百科事典』(R031)

『現代用語の基礎知識』(R031)

『岩波世界人名大事典』(R280)

『日本人名大事典』(R281)

『日本肖像大事典』(R281)

読み方が不明な人物や、どの参考資料に載っているかを調べるには以下の資料の利用をお勧めします。

『人名よみかた辞典』(R281)

『名前から引く人名辞典』(R281)

『近代人物号筆名辞典』(R281)

『西洋人名よみかた辞典』(R283)

『アルファベットから引く外国人名よみかた字典』(R288)

『カタカナから引く外国人名綴りかた字典』(R288)

『外国人物レファレンス事典』(R280)

『人物レファレンス事典』(R281)

3. 図 書

高島平図書館の蔵書から一例を紹介します。ここに取り上げたのはほんの一部です。当館にない資料は板橋区内の図書館や他自治体などから取り寄せも可能ですのでお申し付け下さい。

『仏教人物事典』(182)

『現代外国人名録』(R280)

『ノーベル賞受賞者業績事典』(R280)

『新現代日本執筆者大事典』(R281)

『海を越えた日本人名事典』(R281)

『日本古代中世人名辞典』(R281)

『日本近世人名辞典』(R281)

『日本近現代人名辞典』(R281)

『戦国大名家臣団事典』(R281)

『明治維新人名辞典』(R281)

『日本女性人名辞典』(R281)

『名数歴史人物辞典』(R281)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 『中国人名事典』(R282) | 『来日西洋人名事典』(R283) |
| 『世界皇帝人名辞典』(R288) | 『5カ国語世界地名・人名表記辞典』(R290) |
| 『科学・技術人名事典』(R402) | 『世界科学者事典』(R403) |
| 『美術家索引』(R703) | 『書画骨董人名大辞典』(R702) |
| 『日本まんが賞字典 まんが人物事典』(R726) | 『現代名工・職人人名事典』(R750) |
| 『音楽家人名事典』(R760) | 『歌舞伎人名事典』(R774) |
| 『現代日本映画人名事典』(R778) | |
| 『茶道人物事典』(R791) | 『最新海外作家字典』(R903) |
| 『欧米文芸登場人物事典』(R903) | 『世界・日本児童文学登場人物辞典』(R909) |
| 『作家・小説家人名事典』(R910) | 『詩歌作者事典』(R911.3) |

4. 新聞記事

新聞の記事は最新の情報源です。高島平図書館には朝日・読売・毎日・日経・産経・東京の各紙を中心に3か月分あります。大手新聞は縮刷版の所蔵もございます。また、高島平図書館では朝日新聞のデータベース「聞蔵」も利用可能です。その他の新聞記事をお探しの際は他館で契約しているデータベースをご案内しますので2階レファレンスカウンターにお問い合わせ下さい。

5. 雑誌記事

雑誌記事も重要な情報源です。高島平図書館に無い雑誌も取寄せが可能です。

- 『歴史読本』(高島平ほか) 『歴史街道』(高島平ほか) 『歴史通』(東板橋)

6. インターネット

主なwebサイトから一部を紹介します。

- ・**日本人名情報索引(人文分野)** : <http://rnavi.ndl.go.jp/jinmei/>
国会図書館：所蔵資料から、日本の人名情報を収録する参考資料の書誌や収録内容を紹介。
- ・**kotobank(コトバンク)** : <http://kotobank.jp/>
朝日新聞社：「朝日日本歴史事典」「日本人名大事典 plus」等の人名事典の本文内容を閲覧可能。
- ・**researchmap** : <http://researchmap.jp/>
研究者向けwebサービス。登録している研究者の略歴、所属、研究分野を検索できる。
- ・**e-hoki** : <http://www.e-hoki.com/>
新日本法規出版株式会社:裁判官、弁護士、税理士、法曹界人事の検索が可能

7. 最後に

今回紹介したのはほんの一例です。実際の書架には他にもたくさんの資料がありますのでご利用下さい。このパスファインダーが情報検索の一助になれば幸いです。ご不明な点がございましたら、お気軽に近くの図書館員にお申し付け下さい。